

建築設備展2014

# 「省エネ！創エネ！蓄エネ！最新設備で明るい未来！」 の開催に寄せて

四国地方整備局長 三浦真紀

建築設備展2014が開催されますことを心からお喜び申し上げます。また、日頃から国土交通行政の推進にあたりまして、多大なご支援・ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

国土交通省では、東日本大震災の復興が山場を迎える中で、被災地が復興を実感できる取組を加速するとともに、地方の創生と人口減少の克服に向け、「国土のグランドデザイン2050」で示された「コンパクト+ネットワーク」等の考え方に基づく戦略的な取組を推進し、あわせて、防災・減災、インフラ老朽化対策等による国民の安全、安心の確保を図っております。

四国地方整備局では、特に、近い将来発生する可能性が高いとされている南海トラフ巨大地震への備えを強化するために、信頼性の高い緊急輸送ネットワークとなる四国8の字ネットワークの整備、救援活動、緊急物資等の海上輸送拠点となる耐震強化岸壁の整備、河川・海岸堤防等の耐震、液状化対策等を推進しております。

また、今年度、高松サンポート合同庁舎（南館）に着工いたします。この南館の整備により、災害応急対策活動を行う四国管区警察局、四国財務局、四国運輸局及び高松地方气象台等の国の機関があらたに集約され、既存の北館に入居している国の機関や大規模災害時に北館低層棟（アイホール）に設置される政府の現地対策本部との情報共有が円滑となり、一層の連携強化が図られることとなります。

今回の建築設備展のテーマ「省エネ！創エネ！蓄エネ！最新設備で明るい未来を！」に関連した官庁施設での環境対策についてですが、まず照明設備での発光ダイオード（LED）導入があげられます。2014年のノーベル物理学賞受賞で話題となった青色LEDは、省エネかつ長寿命であり、白色照明のLED照明器具として、急速に普及しつつあります。

次に、空調設備では、省エネかつCO<sub>2</sub>削減に寄与するクールビズ／ウォームビズ空調システムの検討を行い、その導入に取り組んでおります。この他、先の国会で「雨水の利用の推進に関する法律」が成立しましたが、高松サンポート合同庁舎では、雨水を一時的に貯留し、トイレの洗浄水として利活用するなど、率先した取組を進めております。

今回の建築設備展が、建築設備の分野での新たな技術開発を促し、四国地方からの情報発信の場となること、あわせて建物の利用者や地域の住民の方々にとっても、常時・災害時の安全確保やエネルギー対策に資する建築設備の重要性を再認識して頂けるよい機会になることに期待しております。最後になりましたが、香川県設備設計事務所協会のますますのご発展、並びに建築設備展2014のご成功を祈念いたしまして、お祝いの挨拶といたします。